

認知症 早期発見のすすめ

「風邪をひいたかも」
と思ったとき、
まずどうしますか？



「病院で薬をもらう」
「検査してもらう」

「もしかして認知症かも」
と思ったときは？



「そんなはずない」
「年齢のせい」
「病院には行かず
閉じこもる」

認知症だと、どうして病院へ行かない
のでしょうか？

認知症は早期発見と早期治療、そして
今まで通り生き生きと生活を持続すること
で進行を予防できるものです。

怖がる必要も、恥じる必要も
まったくありません！！

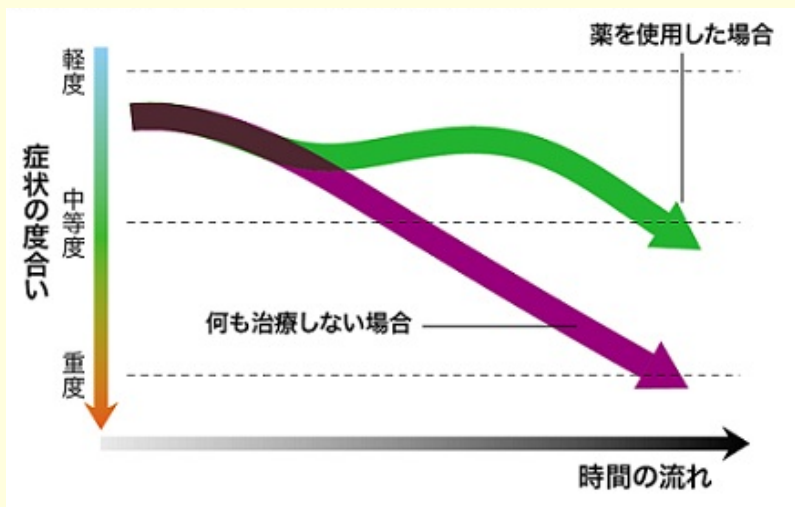
認知症であっても、色んな工夫を
しながら生活を持続、活躍されている
方が全国各地に居ます！

< 認知症希望大使のみなさん >



すすめ その①

認知症のお薬は、症状の進行を緩やかにします。
早期に服用するほど、その効果は表れやすいと
言われています。（効果には個人差があります）

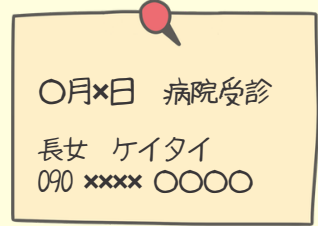


すすめ その②

症状が軽いうちに、ご本人やご家族が認知症への理
解を深め、病気と向き合い話し合うことで、今後の
生活の備えをすることができます。工夫しながら今
の生活を長く続けることも可能です。

大切な予定や大事な
連絡先はメモに書いて
貼りましょう！

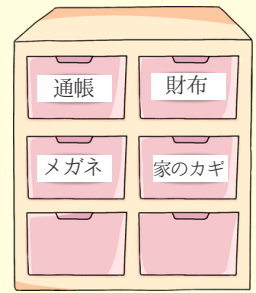
工夫①



大きめのカレンダーに予定を書いて、
家族も目に付くところにかけておくの
もおすすめです！

工夫②

物をしまった場所が
分かるように引き出しに
ラベルを貼りましょう！



すすめ その③

専門医との関係が築ける

認知症が進行すると、コミュニケーションが難しく
なることもあるでしょう。しかし早めに受診すれ
ば、担当の先生とコミュニケーションを取りながら
関係を築き、自分の意思を伝えた上で治療を進める
ことができます。自分らしい生き方や考え方を伝え
ておきましょう。

自分自身に思い当たる症状はないかチェックしてみましょう！

今日が何月何日か 分からない時がある	同じことを何度も聞い たり、言ったりするこ とが増えた	置き忘れやしまい 忘れが増えた
冷蔵庫に同じものが たくさん入っている	慣れているはずの道で 迷うことがある	料理や洗濯の段取りが 悪くなり、以前の一 つに家事ができない
以前は好きだったこと に対する興味や関心が なくなってきた	ちょっとしたことで イライラしたり、怒り っぽくなった	言おうとしている言葉 がなかなか出てこない ことがある
人づきあいや外出が おっくうになった	雑誌やテレビの内容が 理解できなくなった	財布がいつも小銭で パンパンになっている
身だしなみに気を 使えなくなった	5分前に聞いた話が 思い出せないことが ある	以前はできていたリモ コンなどの操作が分 からなくなった

6つ以上当てはまる症状があったら、下記の
専門の医療機関へ1度相談に行ってみましょう！
かかりつけ医がある場合は、紹介状が
必要な場合があります。ご相談ください！

こんな症状も
認知症の可能性あります！

夜中に大声を出す
虫が見える

万引きをする

以前より、手足を
動かしにくくなった



三財診療所	西都病院	けいめい 記念病院	野崎病院
西都市大字下三財 3378番地 (0983) 44-5221 【診療日】 もの忘れ外来 ※ 予約制 毎月 第2木曜日 午前9時～12時	西都市大字調殿1010 番地 (0983) 43-0143 【診療日】 もの忘れ外来 ※ 予約制 月～金曜日 休診日：土・日曜 午前9時～12時 午後1時～4時半	東諸県郡国富町大字 岩知野762 (0985) 75-7007 【診療日】 もの忘れ外来 ※ 予約制 月～土曜日 休診日：木・日曜 午前8時半～12時半 午後1時半～5時半	宮崎市大字恒久5567 番地 相談専用電話 (0985) 54-8123 午前9時～午後5時 (土・日・祝休み) 【診療日】 月～金曜日 (予約制) 午前9時～12時 午後1時半～4時

